

平和行政について

問 市長に「核兵器のない世界を」という国際署名の要請があったと思うが、どう対応したか。

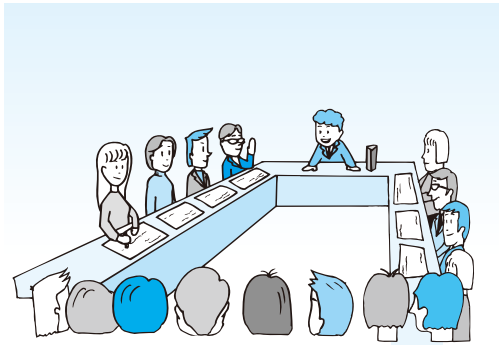
答 わが国は唯一の被爆国として核廃絶を求め、本市もこれを支持している。5月13日には「ヒロシマ・ナガサキ議定書」への賛同署名をし、送付した。

問 広島市・長崎市が主宰する平和市長会議に加盟すべきではないか。

答 議会の議論や市民の間の機運の高まりも必要であり、皆さんと相談して判断したい。

問 「非核平和都市宣言」を行ったらどうか。

答 本市では昭和43年10月5日に核戦略兵器による戦争を否定し、恒久平和を願う「世界連邦平和都市宣言」を制定している。基本的に理念は同じとの認識で、新たな宣言を出すことは考えていない。



新実祥悟(無会派)

問 国道247号鹿島バイパスの渋滞緩和について

問 カインズモール出入口の信号設置と鹿島バイパス4車線化の可能性はどうなっているのか。

答 カインズモール内の乗り入れ道路が公道となれば交差点になり得るので信号設置が可能と思われる。4車線化の要望は継続していく。県では中央バイパスに着手しており、終わり次第、それを見て鹿島バイパスの4車線化に行きたいと聞いている。

問 乗って残そう名鉄西尾・蒲郡線について

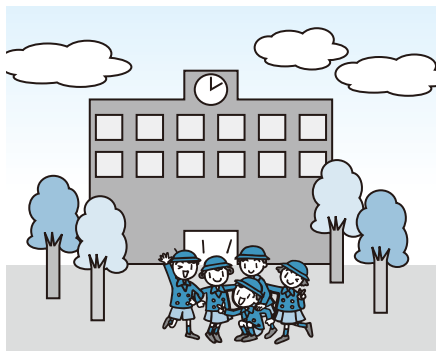
答 総合公共交通体系整備を、市が音頭を取って進めていく考えはあるか。

問 JRと名鉄の電車・バス、タクシーを公共交通ととらえている。民間会社の営業であり、市から話をして乗ってもらえるかは難しい問題だと思っている。

伊藤勝美(公明党)

問 学校のトイレ環境について

答 トイレ環境が子供の成長に与える影響と整備計画はどうか。



問 トイレが美しくなれば、子供たちの心の安定に良い影響を与えると確信している。清潔感がある環境整備を目指し、既存の便器の一部を和式から洋式への改造を進めるとともに照明設備の充実や手洗器具の改良に努めていく。

問 視覚障がい者への情報バリアフリーの取り組みは

答 音声情報として読み取れるSPコードに対応した携帯電話が、来春に製品化されるようだが、利用促進をどうするのか。

問 音声読み上げ装置の購入や貸し出しを促進し、市からの簡易な文書についてはSPコードの段階的な導入を図るよう各課に要請をしていく。

大竹利信(公明党)

問 地産地消の推進と直売所の取り組みは

答 競艇場の施設改善後の東アーケードは更地になると聞いているが、直売

ポートレース場



問 施設改善が平成26年度に完成する。活用を検討しているが、直売所を作るのもその一つと考えている。

問 災害時の市の事業継続計画(BCP)について

答 多くの自治体が策定していない中で、市の今後の取り組みについて伺う。

問 災害時に、業務を継続していける体制整備が重要であり、職員の意識づけから始めていきたい。業務復旧の優先順位を決める際に役立つであろうと、昨